

6	2章 連立方程式	1節 連立方程式とその解き方 1 連立方程式とその解 2 連立方程式の解き方 3 いろいろな連立方程式 4 加減法	8 <ul style="list-style-type: none"> 2元1次方程式を成り立たせる文字の値の組を調べ、2元1次方程式とその解の意味を理解する。 2つの2元1次方程式を両方とも成り立たせる文字の値の組を調べ、連立方程式の解の意味を理解する。 連立方程式を解くには、文字を消去して、1元1次方程式を導けばよいことを理解する。 代入法を使って連立方程式を解くことができる。 加減法を使って連立方程式を解くことができる。 x, yの係数の絶対値を等しくして、加減法を使って解くことができる。 かっこのある連立方程式、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 連立方程式を適当な方法で解くことができる。 $A=B=C$の形の方程式を解くことができる。 	関 見 技 知	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式のしくみに興味・関心をもち、進んで連立方程式を解こうとする。 実際的な問題、道のり・速さ・時間に関する問題、濃度に関する問題、割合に関する問題に関心をもち、連立方程式を活用して解決しようとする。 連立方程式を解く際、操作を簡単にする手順を考えることができる。 方程式をつくるために、数量を関連づけて考察することができる。 連立方程式を解くことができる。 具体的な問題の数量関係を連立方程式で表し、解き、解の吟味をすることができる。 2元1次方程式の解の意味を理解している。 連立方程式の解き方を理解している。 具体的な問題について、連立方程式を使って解決する考え方や手順を理解している。
7		2節 連立方程式の利用	6 <ul style="list-style-type: none"> 連立方程式を使って問題を解決するための考え方とその手順を理解し、問題を解くことができる。 道のり・速さ・時間に関する問題について、連立方程式を使って解くことができる。 濃度に関する問題について連立方程式を使って、解くことができる。 割合に関する問題について連立方程式を使って、解くことができる。 		

2 学 期	9	3 章 1 次 関 数	1 節 1 次関数	11	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中から2つの数量を見出し、いろいろな関数の関係について、調べることができる。 1次関数の意味を理解するとともに、1次関数と比例の関係を理解する。 1次関数において、xの値の変化にともなって、対応するyの値がどのように変化するかを理解する。 変化の割合の意味を知り、1次関数では、その変化の割合が一定であることを理解する。 1次関数のグラフは直線になることを知り、1次関数と比例の関係を理解する。 1次関数 $y = ax + b$ のグラフで、aの値がその直線の傾きを表すことを理解する。 1次関数のグラフを、かくことができる。 グラフより、その直線の式を求めることができる。 ある関数が1次関数であるとき、その式を求めることができる。 1次関数の表、式、グラフの関係を理解する。 	関	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な事象の中にいろいろな関数があることに興味をもち、表・グラフ・式などを用いて調べようとする。 1次関数のグラフの特徴に関心をもち、調べようとする。 1次関数のグラフのかき方に関心をもち、かこうとする。 直線の式の求め方に関心をもち、求めようとする。 1次関数の特徴に関心をもち、表・式・グラフを関係づけて、1次関数の特徴を理解しようとする。 身のまわりの事象を1次関数を用いてとらえ説明することに興味をもち、問題の解決に生かそうとする。
	10		1 1次関数の値の変化 2 1次関数のグラフ 3 1次関数のグラフ 4 1次関数を求めること				
			1 2元1次方程式のグラフ 2 連立方程式とグラフ	7	技	<ul style="list-style-type: none"> 変化の割合を求めることができる。 条件をみたま1次関数のグラフをかいたり、式を求めたりすることができる。 2元1次方程式のグラフをかくことができる。 2直線の交点の座標を連立方程式を利用して求めることができる。 グラフを利用して連立方程式の解を求めることができる。 1次関数の関係を表・式・グラフに表すことができる。 	
			3 節 1次関数の利用		知	<ul style="list-style-type: none"> 「yはxの1次関数である」ことの意味を理解している。 1次関数 $y = ax + b$ で、係数 a、定数 b、変化の割合、グラフについて理解している。 1次関数の表・式・グラフの関係を理解している。 2直線の交点の座標は、連立方程式の解に一致することを理解している。 	
			1 1次関数とみなすこと 2 1次関数のグラフの利用 3 1次関数と図形				

		4章 平行と合同	1節 説明のしくみ 1 多角形の角の和の説明 2節 平行線と角 1 平行線と角 3節 図形の合同 1 合同な図形の性質と表し方 2 三角形の合同条件 3 証明のすすめ方	4 ・多角形の内角の和の求め方を考え、それを説明する。 ・多角形の外角の和の求め方を考え、それを説明する。 7 ・対頂角，同位角，錯角の意味を知る。 ・対頂角の性質について理解する。 ・平行線の性質や，平行線であるための条件について理解する。 ・三角形の内角と外角についての性質を，平行線の性質を使って調べる。 ・図形の性質を，補助線をひいて調べる。 8 ・合同の概念を理解し，合同な図形の性質を知る。 ・2つの多角形が合同であるための条件を理解する。 ・三角形の合同条件を調べ，まとめる。 ・三角形の合同条件を使って，2つの三角形が合同かどうか判断することができる。 ・図形の性質を，三角形の合同条件を使って説明することができる。また，証明の意味を知る。 ・作図が正しいことを証明でき，仮定，結論の意味を理解する。 ・証明のすすめ方を理解し，証明のよりどころとなることがらをまとめる。 ・合同な図形の性質を利用することができる。	関 見 技 知	・平行線の性質、図形の基本性質に関心を持ち、補助線をひいて調べようとする。 ・証明のしくみに関心を持ち、証明のよりどころを明らかにしようとする。 ・図形の性質を、いろいろな補助線をひいて、既習の図形の性質を用いて考えることができる。 ・三角形の合同条件を使ったり、証明のしくみをもとにしたりして、図形の性質を考察することができる。 ・いろいろな問題を解決するのに、合同な図形の性質を利用して考えたり説明したりすることができる。 ・図形の基本性質を利用し、具体的な角の大きさを求めることができる。 ・ n 角形の内角の和、外角の和を求めることができる。 ・三角形の合同条件を使って図形の性質の説明を記号を使って表すことができる。 ・仮定や結論を記号を使って表し、証明の過程を適切に表すことができる。 ・平行線の性質、平行線であるための条件を理解している。 ・三角形の角についての性質を理解している。 ・多角形の内角、外角の意味、内角の和、外角の和の求め方を理解している。 ・三角形の合同条件を理解している。 ・仮定、結論、証明の用語とその意味、および証明のしくみを理解している。	
12	11						

		5章 三角形と四角形	1節 三角形 1 二等辺三角形の性質 2 二等辺三角形であるための条件 3 直角三角形の合同条件	9	<ul style="list-style-type: none"> 定義の意味とその役割を知り、これまで学んだ図形を定義をもとにして表現することができる。 二等辺三角形の定義をもとにして、二等辺三角形の性質を調べる。 三角形が二等辺三角形であるための条件を調べ、それを証明する。また、命題の逆の意味を知り、その真偽を調べる。 直角三角形の合同条件を見出し、それを証明する。 直角三角形の合同条件を使って、図形の性質を証明する。 	関	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質について関心を持ち、それらについて調べようとする。 直角三角形の合同条件に関心を持ち、それらについて調べようとする。 平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件に関心を持ち、それを証明しようとする。 いろいろな四角形の性質に関心を持ち、それらの性質や相互の関係を調べようとする。 三角形や四角形の性質を利用して、身近な事柄を調べることに関心を持ち、問題の解決に生かそうとする。
3	1		2節 平行四辺形 1 平行四角形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 特別な平行四辺形 4 平行線と面積	13	<ul style="list-style-type: none"> 平行四辺形の定義を知り、それをもとに平行四辺形の性質を証明する。 四角形が平行四辺形になるための条件を証明する。 平行四辺形になるための条件を使えるようになる。 平行四辺形になるための条件を使って、図形の性質を証明する。 ひし形、長方形、正方形の定義を知り、それらの図形が平行四辺形の特別なものであることを理解する。 いろいろな四角形の性質を対角線に着目して調べ、四角形の相互関係を理解する。 平行線を利用して、面積を変えないで図形を変形することができる。 	見	<ul style="list-style-type: none"> 観察、実験、操作によって見いだした図形の性質を演繹的に証明することの意義やよさがわかる。 いろいろな四角形を互いに関連づけてとらえることができる。 面積を変えないで図形を変形する方法を考えることができる。 身近なことから、三角形や四角形の性質を利用して考えることができる。
	2					技	<ul style="list-style-type: none"> 直角三角形の合同条件を使って、図形の性質を証明することができる。 平行四辺形の性質をその定義をもとにして導き出すことができる。 2つの図形の面積の比を求めたり、面積を変えないで図形を異なる形にかえたりすることができる。 仮定・結論や証明を記号を用いて表すことができる。
						知	<ul style="list-style-type: none"> 定義、定理の意味を理解している。 二等辺三角形、正三角形、直角三角形の定義や性質を理解している。 命題の逆の意味を理解している。 直角三角形の合同条件を理解している。 平行四辺形の定義や性質、平行四辺形であるための条件について理解している。 ひし形、長方形、正方形の定義を理解している。 等積変形について理解している。

	3	6章 確率	1節 確率 1 ことがらの起こりやすさ 2 確率とその求め方 3 いろいろな確率 4 確率による説明	10	<ul style="list-style-type: none"> 相対度数を調べ、そのことがらの起こりやすさの割合を知ることができる。 実験回数を増していくと、あることがらの起こる割合は、一定の値に近づいていくことを知る。 確率の意味と、「同様に確からしい」ことの意味を理解する。 起こり得る場合のすべてが同様に確からしいときの確率の求め方を理解し、求めることができる。 起こり得る場合の数に着目して確率を求めたり、確率の範囲を考えたりすることができる。 樹形図を使って起こり得る場合を数え、確率を求めることができる。 表を使って起こり得る場合を数え、確率を求めることができる。 不確定な事象について確率を用いて問題を解決し、説明することができる。 	関 見 技 知	<ul style="list-style-type: none"> 身近な事象の起こりやすさに関心を持ち、相対度数を求めて起こりやすさを調べようとする。 確率の意味や確率の求め方に関心を持ち、進んで確率を求めようとする。 起こりやすさを数値化して考察することができる。 同様に確からしいかどうかを考察することができる。 起こり得る全ての場合をわかりやすく樹形図や表に表して考察することができる。 相対度数を求めることができる。 簡単な事象について、数学的確率を求めることができる。 樹形図や表を利用して、起こりうる場合の数を落ちや重なりがないように順序よく調べ、確率を求めることができる。 確率の意味や「同様に確からしい」ことの意味を理解している。 確率の求め方を理解している。 樹形図や表を利用して、起こり得る場合の数の調べ方を理解している。 	
--	---	----------	--	----	--	------------------------------	--	--